

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	キッズボンドえぎら		公表日		2026年3月2日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	利用人数や活動に応じて、安全に過ごせるように衝立をするなど区分けしている。	2階に学習室と静養室がある。有効的な利用方法を検討している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	子ども2人に対し1名以上の指導員を配置している。必要に応じて、マンツーマンでの支援も行っている。	個別支援が重なる時間帯で、より細やかな対応ができる環境を整えたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	発達支援室からトイレまではバリアフリーとなっている。防犯カメラを設置しており、子どもたちの様子を検証することができる。	玄関の段差と階段の狭さが気になる。今後お子様の状態によっては安全に通れるような工夫が必要となる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	毎日清掃を行い清潔に心掛けている。	刺激に敏感なお子様に対応する空間作りをしていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	学習室や静養室をクールダウンできる場所として使用し職員が付き添っている。	細かく仕切れるパーテーションを検討したい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	毎日のミーティングや定期的に行う職員会で、課題や支援方法の見直しを図っている。	出勤時間が異なる職員への伝達方法を工夫したい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	評価表を配布し把握している。	送迎時やモニタリングで把握した意向について詳しく伺うことで改善に努める
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・職員間のコミュニケーションを多く取っている。 ・受け入れ前ミーティングや職員会議で発言して支援に生かしている。	情報共有をこまめに行い、全員の意見を取り入れていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		第三者評価は設置していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	年間の研修計画に則り、オンラインや実地での研修を行っている。	職員間で事例検討を行い学びの場を増やしていきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページに掲載している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	一人の児童に対して、二人以上でアセスメントを行っており客観的に分析している。さらに、専門家を変えた担当者会議を開催し個別支援計画を作成している。	アセスメントの質向上に向け、記録方法や情報共有の工夫を進めたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	個別支援計画案作成後、職員と担当者会議を開催し支援方針を共有している。	アセスメント内容の事前共有や短時間打ち合わせの機会を増やしていきたい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	随時職員会議を開催し、個別支援計画を共有している。	職員会議の回数を増やしたり十分な時間をとることを検討したい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	フォーマルアセスメントツールとしてASISTやVineland-IIなどを使用しており、日々の支援記録によりインフォーマルアセスメントも行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	個別支援計画には、「本人支援」とともに「家族支援」「移行支援」の支援内容も記載している。	具体的な支援を統一することやわかりやすくする仕組みを作りたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員会議等で複数の職員の意見を取り入れている。	職員のアイデアを共有するためミーティングを充実させたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	職員会議やAIを使用し、固定化しないように工夫している。	季節行事や児童の興味を取り入れ定期的に検討しプログラムの幅を広げていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	こどもの特性に応じ、個別活動と集団活動を組み合わせる児童発達支援計画を作成し支援に活かしている。	児童の当日の状態や興味を共有する仕組みを整え計画への反映をさらに丁寧に行えるようにしたい。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	日々、ミーティングを行い連携した支援を行っている。	事前チェックリストにより支援内容の確認もしていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	送迎終了後、打合せを行い振り返りを行っている。	気づきの要点を簡潔に整理できる仕組みを整え、より継続的に支援改善へ生かせる体制作りを進めたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	毎日欠かさず個別支援記録を作成し、検証している。	記録内容の整理方法を工夫し、検証結果をより計画的な支援改善につなげていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的にモニタリングとアセスメントを行い個別支援計画の見直し給おを行っている。	得られた気づきを職員間でより共有しやすく整理し、計画の見直しができる仕組みに進めたい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児発管のみならず、指導員も会議に同席させている。	情報共有の方法を工夫し、必要な支援内容がより確実に共有されるようにしたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	一部の子どもに関しては、ケース会議を開くなどして関係機関との連携を図っている。	情報整理の方法を工夫し、必要な支援内容がより確実に共有されるようにしていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	関係機関と連携を取りインクルージョンを推進している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		就学前には、進学先を訪問し情報共有に努めている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	発達支援センターの研修に参加することがある	児童発達支援センターとの連携は不十分だと感じている。今後は改善し連携していきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	公園で遊ぶおでかけでは、地域の児童と関わりが持てる。	児童の興味や特性や合わせて、地域での活動先を広げていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時やライン等で事業所での様子や気が付いた点を共有している。	子どもの変化をより丁寧に伝えるために、情報共有の方法を工夫したい。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	家族で参加できる研修の機会がない。	相談支援は行っているが、ペアレントトレーニングが不十分だと感じている。今後は積極的に取り入れていきたい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	モニタリングの機会に保護者様のニーズを確認している。子どもの意思を最優先に考え個別支援計画を作成している。	意向確認の機会を増やしより丁寧に反映できる体制づくりを進めていきたい。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	支援内容に説明の際には、個別支援計画を示している。	保護者がより理解しやすい提示方法や振り返りの機会を工夫していきたい。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	モニタリング時や送迎時LINEでの相談にも応じている。	保護者がより相談しやすい場や情報共有の方法を増やし、より安心して悩みを話せる環境作りを進めたい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	今年度保護者参観を開催したが、保護者会は開催していない。	保護者参観と合わせての開催を検討したい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	子どもや保護者からの依頼があった際には、優先的に対応している。	記録様式の整備や周知方法の見直しを進めていきたい。

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月キッズボンド通信を発行するとともに、1週間に複数回、SNS上で活動の様子を発信している。	保護者が必要な情報を伝わりやすい形で発信する工夫をしていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	鍵付き書庫で厳重に管理している。	職員間での確認体制をさらに見直し、安全性を強化していきたい。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	場合によっては絵カードを使用するなどして、意思疎通をしている。	児童の特性に合ったより多様な伝え方の工夫に努めたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		地域住民を招待することはできていないので、今後検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルはすべて作成済み。通信等で周知している。避難訓練は年間計画を立て、毎月実施している。	各マニュアルの内容をより実践に合ったものに更新し、職員全体で共有する研修機会を増やしていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPは策定済み。避難訓練と並行して訓練も行っている。	マニュアルの要点を現場で確認しやすい形に整理をしたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	毎年度フェイスシートに記入していただいている。職員に周知し共有できている。	日々の変化も把握できるよう職員間で共有方法を整備していきたい。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	医師により提示されている保護者より情報をいただき対応している。 職員全員にわかるように掲示してある。	定期的な確認と更新の流れをより整備していきたい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画は作成済み。研修計画に則って、必要な研修や訓練を行っている。	職員への周知や定期的な訓練など、しっかりと行いたい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	通信やSNSで周知している。どなたでも閲覧できるように事業所にも安全計画を常備している。	保護者がより理解しやすい形で伝わるよう周知方法の工夫を今後検討していきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	受け入れ前ミーティングで共有し再発防止案を検討している。	検討内容をより体系的に残せる仕組みづくりについて今後検討していきたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	社内研修や外部研修で複数回実施している。また、虐待防止委員会でも話し合っている。	日々の支援場面での気づきを共有する機会をさらに増やし、職員全体で理解を深めたい。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	契約時に説明している。また、指針を閲覧できる状態で事業所に常備している。	職員間で具体的な判断基準の共有をより丁寧に行い、保護者への説明方法もわかりやすく工夫していきたい。	